

## 【P-530 標準仕様システム Ver1.04】

P-530標準仕様システムをVer1.04に変更致しました。

### 【Ver1.04の変更内容】

1. BUFFALO製USBメモリー「RUF3-KSAシリーズ/KSシリーズ」に対応  
RUF3-KSAシリーズ/KSシリーズを使用したとき、P-530への入力時にUSBメモリーへの書き込みが出来ず、受信終了時に「\*RECEIVE ERROR\*」が出る不具合を修正しました。
2. システムフォルダ<System Volume Inf>と隠しフォルダを表示しないように改善  
Windows10パソコンでフォーマットやファイル書き込みをしたUSBメモリーを使用すると、システムフォルダ<System Volume Inf>がファイル一覧に表示されるため、システムフォルダと隠しフォルダを表示しないように改善しました。

### ※Ver1.03システムから入力時のファイル名の自動決定方法を変更しています。

プログラム番号（O番号）8桁に対応するため、入力時のファイル名の自動決定方法を変更いたしました。

パラメータNo.12 ファイルメイの設定値「オート」または「Oバンゴウ」にした際に下記のように変更となります。

TOSNUCなどプログラム番号8桁の自動受信に対応します。

#### （ Ver1.02まで ）

数字の並びとその前の1文字を含めた先頭から8文字までをファイル名にします。

例： L 1 2 3 4                   → L 1 2 3 4 . NC  
      O 1 2 3 4 5 6 7 8       → O 1 2 3 4 5 6 7 . NC

#### （ Ver1.03以降 ）

数字並び7文字以内の場合は、数字並びとその前の1文字をファイル名にします。

例： O 1 2 3 4                   → O 1 2 3 4 . NC  
      L 1 2 3 4 5 6 7           → L 1 2 3 4 5 6 7 . NC

数字並び8文字以上の場合は、数字並びの後ろから8文字をファイル名にします。

例： L 1 2 3 4 5 6 7 8       → 1 2 3 4 5 6 7 8 . NC  
      O 1 2 3 4 5 6 7 8 9   → 2 3 4 5 6 7 8 9 . NC